

平成26年8月6日
四国地方整備局
土佐国道事務所

一般国道32号大豊町寺内における 地すべりの詳細調査について

台風12号により、国道32号高知県大豊町寺内では、平成元年からの観測以来最大の連続雨量1057mm(豊永観測所)もの降雨を記録し、国道32号上にある集落(寺内地区)では、地すべりの発生が懸念されています。昨日の調査に引き続き本日も、国道32号大豊町寺内において詳細な調査を実施するため、高知大学笹原(ささはら)先生をはじめとする調査チームを現地に派遣します。

【雨量】

過去の連続雨量のランキング(平成元年～平成26年) 豊永観測所

	連続雨量	発生年
1	1,057mm	平成26年(今回)
2	693mm	平成17年
3	642mm	平成5年

【現在の通行規制】

一般国道32号 高知県長岡郡大豊町大字寺内(延長1.1km※)

※迂回路への誘導や車両のUターンの必要性から長くなっています。

【笹原先生のコメント(8月5日現地調査)】

○国道32号の舗装の亀裂(92.9kpと93.0kpの2箇所)は今回新たに発生したものであり、今後降雨が続けば急激な進行も考えられる。当該亀裂の進行を把握するため、亀裂の変位を定期的に計測することが必要

○国道32号上にある集落(寺内地区)で兆候の見られる地すべりについては、小規模なものであり国道上にまで影響が及ぶ可能性は低い。

○今週の後半は台風11号の襲来が予想されていることから嚴重な警戒が必要であり、当該区間は少なくとも台風11号の影響がなくなるまでは、引き続き通行規制を行う必要がある。

本施策は、四国圏広域地方計画「No.6 防災力向上プロジェクト」の取組に関連します。

お問い合わせ先(○主な問い合わせ先)

国土交通省 四国地方整備局 土佐国道事務所 電話 088-884-0359(代表)

○副所長(管理) みやたけ としお 宮武 敏男 (内線)205

管理第一課長 かたおか まさひこ 片岡 正彦 (内線)431

H26. 8. 6 2:00~ 通行規制状況平面図

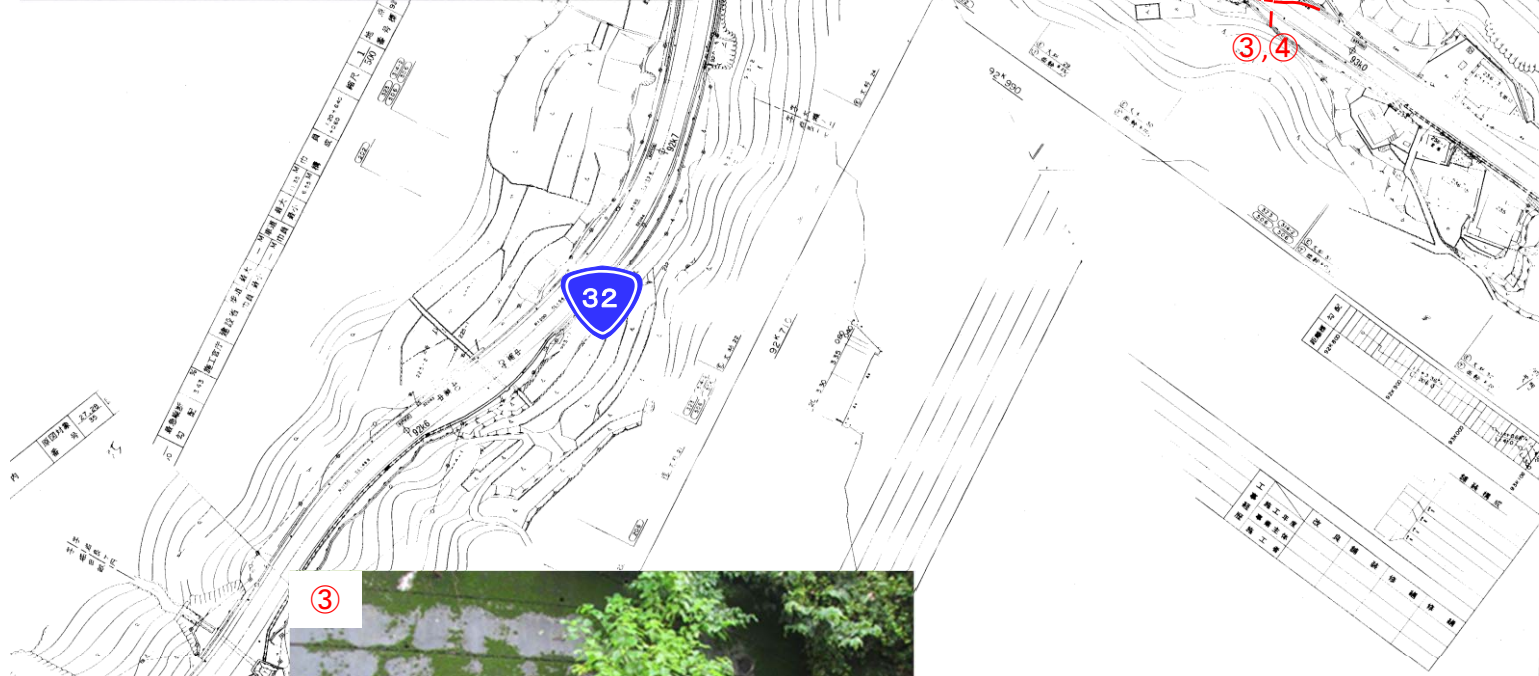


この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50mメッシュ(標高)及び基礎地図情報を使用した。(承認番号 平25情使、第127号)
一般財団法人日本デジタル道路地図協会のデータベースを使用



被災状況写真

高知県長岡郡
大豊町大字寺内



至 高知

至 徳島

